



THE WWE Japan TIMES

31. January 2017 第65号

WWE Japan

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-12 道玄坂今井ビル3F
TEL:03-5456-6050 / Email:infojapan@wwe.com

このニュースターは世界最大級のエンターテインメント「WWE」から毎月の日本での放送を元に、ドラマさながらのストーリー展開をダイジェストにお送りしております。

アンダーテイカー、ランブル戦出場を表明!! ゴールドバーグ、レスナーと大物が続々参戦



ゴールドバーグ、レスナーと次々と大物たちがランブル戦出場を表明する中、またもや大物が動いた！ロウ(#1233)のリングでフォーリーGMとステファニーが議論していると、突然、会場が暗闇につつまれて鐘の音が鳴り響くと、アンダーテイカーが現れた。アンダーテイカーは「ランブル戦に出場する」と明言すると、「29の墓穴を掘り、29の魂を奪う。勝利の後にレッスルマニアのメインイベントで闘う。俺に立ちはだかるものは皆安らかに眠るのみ」とランブル戦優勝を予告した。この男の参戦でランブル戦はますます予測不能な展開になることは間違いありません。30人のスーパースターがしのぎを削るランブル戦はWWEネットワークで配信するPPV「ロイヤルランブル」をご覧ください。

レイنزの復讐劇はロイヤルランブルで！

PPV「ロードブロック」でUS王者レイنزがユニバーサル王者オーエンズに挑んだ一戦は、突然現れたジェリコがオーエンズにコードブリーカーを決めたことによる失格判定で王座防衛を果たした。ロウ(#1230)ではこの王座防衛を喜ぶ2人に対し、フォーリーGMがPPV「ロイヤルランブル」にて再戦を行うと発表。同時にジェリコは再発防止として檻に閉じ込め上空に吊るされることも決定した。

果たして、ロードブロックの屈辱に燃えるレイنزは今度こそユニバーサル王座を手にすることができるのでしょうか？また、ジェリコの助けがないオーエンズは1人で王座を守り切り、実力を証明することができるのでしょうか？



ワイアット・ファミリーに亀裂

スマックダウン(#908)で新スマックダウンタッグ王者アメリカン・アルファと対戦したワイアット・ファミリー。試合にはワイアットとオートンが出演し、ハーパーがセコンドに付いた。試合終盤、オートンがゲイブルを抱え上げてロープDDTを狙うと、エプロンに立っていたハーパーにぶつかって転倒。その後、再度エプロンに上がったハーパーと向き合ったオートンは後ろからゲイブルにオクラホマロールで丸めて3カウントを許し、敗退。リングでは乱闘寸前の小競り合いが発生し、ハーパーが放ったキックが止めにいったワイアットを直撃。会場は不穏な空気で包まれた。

一家の結束に暗雲が立ち込めるワイアット・ファミリー。今後の展開に注目です。



スマックダウン(#906)はシナの復帰でスタートし、「ロイヤルランブルでWWE王者に挑戦する」と宣言した。同日のトリプルスレット形式王座戦ではスタイルズがジグラー、コービンを制して王座防衛を果たすと、翌週のスマックダウン(#907)では調印式が行われた。しかし、そこに割って入ったのがコービンだ。「ランブル戦は俺が優勝する。そしてレッスルマニアで俺が王者になる」と豪語すると、翌週のスマックダウン(#908)ではシナとの対戦が組まれた。コービンの攻撃力に苦戦するシナだったが、最後は渾身のAAで勝利を収め、完全復活をアピールした。

シナが勝てば16度目の世界王座獲得となる一戦。是非、WWEネットワークでご覧ください。

シナ完全復活！王者スタイルズに挑む



WWE観るなら、J SPORTSで！



「ロウ」

英語版初回放送：木曜午前10:00～ J SPORTS 4

字幕版初回放送：木曜午後10:30～ J SPORTS 3

「アフターバーン」※スマックダウン ハイライト

英語版初回放送：土曜午前10:00～ J SPORTS 4

字幕版初回放送：月曜午後 6:00～ J SPORTS 3

※ 英語版・字幕版ともリピート放送あり。放送時間に変更になる場合があります

ハイライト番組「This Week」、は以下各局で！

サムライTV	毎週水曜 午後11時00分～	テレ玉	毎週土曜 深夜1時30分～
tvk	毎週土曜 深夜1時30分～	三重テレビ	毎週水曜 深夜2時20分～
TOKYO MX	毎週土曜 深夜1時00分～ (TOKYO MX2にて放送)	とちぎテレビ	毎週木曜 深夜0時00分～
群馬テレビ	毎週日曜 午後9時30分～	サンテレビ	毎週金曜 深夜2時10分～
チバテレビ	毎週日曜 深夜1時30分～	テレビ熊本	毎週金曜 深夜3時05分～

※ 視聴方法、詳しい放送時間に関しては各局ホームページよりご確認ください

※ 「FIGHTING TV サムライ」はスカパー！、J-COMほか全国のケーブルテレビ、ひかりTVでもご視聴いただけます。詳しくはこちらへ(<http://www.samurai-tv.com/>)



WWEレギュラー番組視聴に関する詳細・お問い合わせ:

J SPORTSオフィシャルWEBサイト(<http://www.jsports.co.jp/>)

J SPORTSカスタマーセンター(TEL:03-5500-3488 受付時間10:00～18:00)

このページではWWEネットワークからのトピックスをご紹介します。

中邑真輔がボビー・ルードにまさかの敗北!!



現地時間1月28日、テキサス州サンアントニオのフリーマン・コロシウムにて「NXTテイクオーバー:サンアントニオ」が開催され、王座挑戦権を争う4ウェイ戦を制した「グロリアス」ことボビー・ルードとNXT王者中邑真輔が対戦。王座戦は実力者同士の期待に違わぬ好勝負を展開したが、試合終盤にアクシデントが起こる。中邑がエプロンで立ち上がったルードに対して強引にヒザ蹴りを決めると、その勢いで場外に落ちた中邑は左ヒザを強打。なんとかリングに戻り再びキンシャサを決めるも、ヒザの痛みでフォールができない。試合を中断してメディカルチェックを受けたが、中邑が試合続行を希望するとルードはチャンスとばかりに中邑の痛めたヒザを容赦なく攻撃し、最後はグロリアスDDTを決めて3カウント。中邑がまさかの敗戦を喫し、ルードが新NXT王座を獲得した。

負傷により王座を守り切れなかった中邑。このままNXTルード王者の時代がくるのでしょうか?今後のNXT王座戦線の行方はWWEネットワークをご覧ください。

中邑が1年目でアワード2冠を達成!!

2016年、NXTにて1年を通じて活躍、功績をあげたNXTスーパースターに与えられる「NXTイヤーエンド・アワード」が発表され、中邑真輔がNXTスーパースター・オブ・ザ・イヤー、NXT男子部門・オブ・ザ・イヤーの2冠を達成。アスカもNXT女子部門・オブ・ザ・イヤーを受賞し、日本人NXTスーパースターの功績が称えられると同時に、そのレベルの高さを証明した。このアワードはツイッター上でファン投票を実施し、NXTテイクオーバー:サンアントニオのプレショーで発表され、その他には、NXTブレイクアウト・オブ・ザ・イヤーにはビリー・ケイ&ペイトン・ロイス、NXTタッグチーム・オブ・ザ・イヤーにはザ・リバイバル、NXTマッチ・オブ・ザ・イヤーには#DIY vs. ザ・リバイバルが受賞し、その功績を称えられました。



NXT (#372)でケイ&ロイスが突如アスカを会場外で襲撃するという暴挙に出た。「女子部門は私たちが仕切っている。王座も私たちのものよ」と挑発すると、サニティーのニッキーも絡んでこの襲撃を発端とした4ウェイ戦がテイクオーバー:サンアントニオで決定した。報復を狙うアスカはヒップアタックや2人まとめたジャーマンスープレックスを決めるなど序盤から激しい攻撃を展開。試合が場外へと移行すると、ケイとロイスはニッキーをブレンバスターでテーブルに叩きつけて撃沈。2対1と数的不利な状況のアスカだったが、持前の攻撃力で打開し、最後はロイスにバズソーキックを決めてピンフォール勝ち。3人を相手に激闘を制し、アスカが王座防衛を果たした。

圧倒的に不利な闘いにも勝利し、無敗街道を突き進むアスカ。果たして、アスカを脅かす強豪は今後現れるのでしょうか?

アスカが雪辱を果たして王座防衛!

TAJIRI「205 Live」で初戦勝利も負傷!!

205 Live(Jan. 3)ではWWEに正式復帰を果たしたTAJIRIが登場。ショーン・マルタを相手にバズソーキックで初戦を勝利で飾り、試合後に現れたケンドリックに対してグリーンミストを吹きかけ、会場を沸かした。

残念ながら、その後の試合でヒザを負傷。ドクターストップが発表されたTAJIRI。早期回復と復帰を祈ります。



PPV「ロイヤルランブル」絶賛公開中



ロイヤルランブル戦の優勝者は?

ゴールドバーグ、ブロック・レスナー、アンダーテイカーも参戦を表明しているロイヤルランブル戦。果たして今年の優勝は誰の手にか?

次回PPV「エリミネーション・チェンバー」

エリミネーション・チェンバー戦は必見

金網の中に4つのガラスで出来た小部屋とリングが存在するエリミネーション・チェンバーマッチ。必見です!

日本時間2月13日(月)配信



「WWE」の最新情報は、日本語公式WEBサイト/WWEモバイル/ツイッター/Facebook/WWEネットワークで!



<http://wwe.co.jp>



<http://m.wwe.co.jp>

メニューリスト > スポーツ > 格闘技
 カテゴリで探す > スポーツ > 格闘技
 Y!メニューリスト > スポーツ > 格闘技



@WWEJapan
をフォロー



「WWE Japan」
で検索



<http://network.wwe.com>